



さかぐち多美子 活動ニュース

子どもの個人情報自衛隊に提供されていることを知っていますか

防衛省から「自衛官募集のため名簿提供に協力してほしい」との要請を受けて、和歌山市は18歳と21歳になる人の氏名と住所を、本人の同意なしに自衛隊和歌山協力本部に提供しています。

保護者から「どうしてダイレクトメールが来るのか」「なんだか怖い」との声があり、議会で確認したところ、2019年から18歳の名簿を抽出して協力本部に提供、2024年から21歳も追加したことが発覚しました。

「自分の子どもの名簿は削除してほしい」とお願いしても「できない」と突っぱねられます。しかし、隣の海南市をはじめ、和歌山県内10自治体で「除外申請」を受け付けています。

学校でも自衛官募集を行っていた

自衛隊が講師を務める「防災スクール」が、和歌山市の小・中・高校で実施されています。23年度は23校で行っていますが、今年度はその1.5倍に増えているとのこと。

ある中学校では昨年、自衛隊による防災訓練のあとに「陸上自衛官募集」と書かれたクリアファイルとボールペンを記念品として全生徒に配ったことが、保護者からの報告で発覚しました。

校長は「普通の防災訓練ととらえている」と話しますが、一方で自衛隊は「募集目標達成のため」と語っています。

自衛隊への名簿提供、自衛官募集のグッズ配布はやめてほしい

「自衛官」は自衛隊員の中でも階級を持ち、国際法上「兵士」や「戦闘員」とされます。自衛官になると「自らの命をかけて相手をせん滅する」という武力行使への服従義務があります。一方、警察官は凶悪犯でも殺傷してはいけないし、自分の命を犠牲にする義務はありません。治安と防災と武力行使は全く違います。

だからこそ、自衛官の募集は保護者や学校がかかわり「公平に取り扱うこと」と国から繰り返し通達が出されています。チラシ配布は「行ってはならない募集広報の例」としてあげられています。

わたしたちは、名簿提供も学校での自衛官募集のグッズ配布もやめるよう議会で言い続けています。

日本共産党和歌山市議会議員 坂口多美子



2025年1月6日「一の橋前」で新年のあいさつ宣伝

☆無料生活相談所☆

医療や福祉・くらし・法律などお気軽にご相談ください。

<場所> さかぐち多美子相談所
和歌山市西庄274

<時間> 平日の午後1時30分から
午後4時まで受け付けています

<電話> 073-454-0538

ご意見など、お気軽にお寄せください
連絡先：日本共産党和歌山市議団073-435-1113

いのちとくらしを守る予算編成を求めます。

2月20日から来年度予算を審議する議会が始まります。物価高がくらしを襲っています。昨年の8月30日に例年より早く要望書を提出することができました。来年度の予算に可能な限り反映してもらうためです。知事とは4点について意見交換しました。その内容についてご紹介いたします。

1. 大阪・関西万博会場の夢洲は、メタンガスの爆発と広範囲での検出、災害時の避難ルート、有害物質PCBの詰まった土が大量に埋められている問題があるなど、命が危険にさらされている。県内全小中学生に万博体験を勧める「教育旅行」は、バスターミナルの混雑や、会場まで1km歩かせること、熱中症対策で水筒をたくさん持たせる、食事場所がとれないなど、さらに多くの問題を抱えている。危険で混乱を招く「教育旅行」は中止すること。

2. 消費税10%への引き上げやコロナ禍の影響がいまだに払拭されないもとで、物価高騰が襲いかかり、中小事業者の経営や県民のくらしが大変厳しい状況にある。しかし現在の物価高騰対策は、十分とはいえなかったコロナ対策に比べてもあまりにも手薄いものになっている。国に物価高騰対策予算の大幅な引き上げを求めるとともに、県独自で思い切った対策を行うこと。

3. 新型コロナ感染拡大「第1波」といわれるなかで、治療薬やワクチンの自己負担が高額となり、検査も有料となっているため、受診控えが広がり感染者数の急増につながっている。県として、コロナ治療薬、ワクチン接種、PCR検査・抗原検査への助成を行うこと。

4. 能登半島地震を受けて、広域防災拠点に県として物資の備蓄を行うこと。

以上4点について知事と懇談しましたが、他にも28項目にわたって申し入れました。

岸本知事の姿勢を予算案でしっかりチェックしてまいります。



2025年度和歌山県予算編成にあたっての申し入れ
(2024年8/30)



☆無料生活相談所☆

医療や福祉・くらし・法律などお気軽にご相談ください。

<場所>奥村のり子相談所

和歌山市中246-3

<時間>金曜日、午後1時30分から
午後4時まで受け付けています。

<電話>073-488-9693